

主を愛する

ヨハネ21：15～17

今日は、復活のイエス様が、主を裏切った弟子たちとの関係を回復された聖書の箇所から、キリストの愛について学んでみましょう。

本来人は、自己中心で自己愛に満ちています。その人間が人を愛するのは、自分が気に入って愛そうと思うだけでなく、自分も相手から認められているから愛せるのです。人はその関係を保ちたいのですが、一旦その関係が崩れると、元に戻るのには難しいことです。

しかしキリストの愛は、裏切った弟子たちを一方向的に愛する愛です。弟子たちは主の赦し、主の愛を受け、信じて変えられました。彼らはこの後、主イエス様をひたすら愛し、生涯、福音を宣べ伝え、人を愛して行きました。それは、イエス様に代わって来て下さった目に見えない御聖霊が、いつも共にいて母親のように励まし、イエス様の愛をさらに深く心に刻み付け、教えて下さるからです。その力は不完全な人間の自己愛ではなく、主ご自身が、主を愛する者に、主の愛によって、人々を愛することができるようにして下さる、神の愛です。

聖書の学び

I、全てを知って愛されるキリスト

1、イエス様の十字架まで、ペテロは自分のイエス様への愛について、どのように考えていたのでしょうか？（マタイ26:33）

2、十字架に架けられる夜、最後の食事の時、イエス様はペテロに何と言われたのでしょうか。（ルカ22:31～34）

①ペテロへの預言と祈りと憐れみ

②その後に成すべきこと

3、捕らえられたイエス様の後について行ったペテロに、どのようなことが起きたのでしょうか？（ルカ22:55～62）

II、キリストの愛がわかる人

1、復活されたイエス様がテベリヤ湖畔で弟子たちと朝食を共にされた時、シモン・ペテロに3度同じ質問をされました。(ヨハネ21:15～17)

①その質問に、どのような意味があるのでしょうか？

②イエス様の羊は弱く、愛されることが不可欠です。ペテロの愛でイエス様の羊を飼い、養う事が出来るのでしょうか？

③ペテロはどのように答えましたか？

2、自分に自信がないペテロに、イエス様はなぜ、ご自分の羊を委ねられたのでしょうか？(ヨハネ21:18)

Ⅲ、キリストの愛に迫られる人

1、I コリント13:4～7 から、主イエス様の完全な愛を見ましょう。

①ペテロに現された主イエス・キリストの愛は、このみことばそのものです。

愛するということは・・・

寛容であり、親切であることです。ねたまず、自慢せず、高慢にならない。礼儀に反することをしない。自分の利益を求めず、苛立たず、人のした悪を思わない。不正を喜ばずに、真理を喜ぶことです。すべてを耐え、信じ、すべてを望み、忍ぶことです。

②私たちがキリストの愛に倣うために、この後にどうするように勧めていますか。
(I コリント14:1)

2、主イエス様のような愛の人とされるため、私たちはどのように信じて、受け取っていくことが求められるのでしょうか？

※ガラテヤ5:14～25を読みましょう。